

「消防・防災・防犯」について

P1

受付月	題名	ご意見内容	回答要旨	担当部
10月	石清水八幡宮参道石垣の崩落の危険性について	石清水八幡宮参道にある石垣が崩落する危険性があるため、市より石清水八幡宮へ連絡・指導をお願いしたい。	石清水八幡宮の担当者と面談しました。 表参道石垣の亀裂については、認識しておりますが、現段階では緊急性がないものと考えており、状況について注視する、に留めています。 京都府文化財保護係の史跡調査で危険度判定も行うため、その判定後に検討を行います。	総務部
10月	防災について	先日の台風18号に対してどのような対策をしたのか。また、住民に広報等をしたのは、どのような事か教えてほしい。 今回の雨量等が当地で降った場合、ポンプなどの排水は大丈夫なのか。 流れ橋の修繕の費用等は、何処が負担するのか。	台風18号に対しては、安全の確認や水害対策備品の点検、事前に職員の動員等を行いました。 昨年に防災ハザードマップを全戸配布しています。平成21年9月号の広報紙や台風の接近にあわせてホームページでも注意を呼び掛けました。 流れ橋は、府道のため、京都府で今後検討されます。	総務部
10月	狩ノ尾神社西側の防災管理について	狩尾神社の西側に住まいをしているが、防壁の隙間から樹木が生えている。割れ目に雨水が浸み込みコンクリート擁壁が崩れる可能性があるのではないかと、防災の観点から整備をお願いをしたい。	民間の土地であるため、樹木の伐採等、市としての対応は困難です。 当時の開発許可の経過も踏まえ、京都府には既に対応をお願いしており、本件要望についても再度、対応を要請しています。 危険の緊急性はありませんが、引き続きパトロールを重ね、安全を確認していくとともに将来にわたっても、京都府と対応策について検討していきます。	総務部
2月	市職員による消防団の結成について	消防団員は、平日の勤め人が多く、初期消火は消防職員が携わる。しかし、大きな災害や火災が起これば対応に不安がある。 そのため、市職員による消防団を結成して消防活動の円滑化を図ってほしい。	ご意見のとおり、昼間に消防団員が地元にはいないことは、初期消火が遅れるという可能性があり、被害を最小限に留めるために、初期消火は非常に重要なことと認識しております。 しかし、大規模災害や火災が発生したときには、市として災害対策本部を設置し、職員が一丸となって、救助活動を行うこととなります。このため、市役所に職員の消防団を結成することは適当ではないと考えております。 また、消防団には市役所職員も多数入団しており、消防団の約10人に一人は市役所の職員となっておりますので、ご理解をお願いします。	消防本部